

種子屋街道の歴史を今に伝える

地域に根差した種子屋の役割～これまでとこれから～

令和5(2023)年4月に豊島区の有形文化財に指定された「榎本家店舗兼住宅および新座敷」は、江戸時代から滝野川～巣鴨の中山道沿いで営まれてきた種子屋の歴史を今に伝える、戦災を奇跡的に免れた区内最古の木造住宅です。この文化財の背景にある種子屋街道の歴史や、建物を後世に長く残していく意義などについて、区民の皆様幅広く知っていただくことを目的にシンポジウムと現地見学会を開催します。

2025年
11/29(土)
13:00～16:30



日程:令和7(2025)年11月29日(土)

会場:大正大学8号館礼拝ホール(豊島区西巣鴨3-20-1)

時間:第1部 13:00～14:40 シンポジウム

第2部 14:40～16:30 文化財保存修理事業見学会

定員:150名(当日直接会場へ)

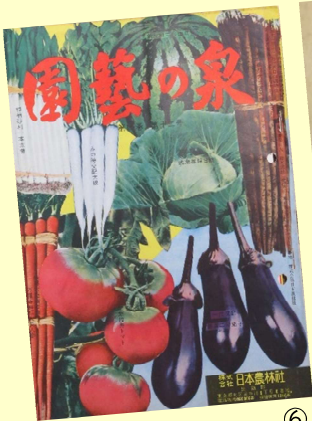
参加費:無料

主催:一般財団法人榎本種苗歴史文化財団

共催:学校法人大正大学・豊島区・協同組合伝統技法研究会

後援:巣鴨信用金庫・株式会社日本農林社・一般社団法人日本種苗協会・住友林業株式会社

【問い合わせ】一般財団法人榎本種苗歴史文化財団 03-3918-5454



⑥



⑦



⑧

日程:令和7(2025)年11月29日(土)

会場:大正大学8号館礼拝ホール(豊島区西巢鴨3-20-1)

プログラム:

第1部 13:00~14:40 シンポジウム

報告① 榎本留吉商店と種子屋街道

(豊島区立郷土資料館 学芸員 横山恵美氏)

報告② (株)日本農林社と種苗業の現在

(株式会社日本農林社 代表取締役社長 近藤友宏氏)

報告③ 種子屋街道の歴史を活かしたまちづくりへの挑戦

(大正大学教授 古田尚也氏)

討 議 発表「種子屋の歴史をうつす緑地づくり」

(信州大学農学部研究員 政金裕太氏)

政金氏の発表後、報告者を交えたディスカッション

第2部 14:40~16:30 文化財保存修理事業見学会

(協同組合伝統技法研究会 角野茂勝氏)

※雨天の場合は内容を変更する場合があります。



⑨



⑩



⑪



①大正期～昭和初年頃の榎本留吉商店 四代目榎本留吉『榎本の思い出集』昭和56年より、②現在の榎本家店舗兼住宅 豊島区管理・文化財グループ提供、③『カネト商報』221号 昭和16年 豊島区立郷土資料館所蔵「榎本泰吉家文書」、④～⑤『カネト商報』183号 昭和12年 豊島区立郷土資料館所蔵「榎本泰吉家文書」、⑥『園藝の泉』昭和31年 豊島区立郷土資料館所蔵「榎本泰吉家文書」、⑦日本農林社前の集合写真 (株)日本農林社提供、⑧現在の日本農林社 (株)日本農林社提供、⑨2021年 種子屋街道さんぽ市の様子 大正大学提供、⑩2022年 豊島区立朝日小学校の見学の様子 大正大学提供、⑪座・ガモールファーム通信Vol.28 大正大学提供